

## 指定校入試及び推薦入試願書受け付けが始まります

10月になりました。旧暦では神無月と言います。つまり、神様が出雲の国に集まり地方では不在となるからです。逆に出雲の国では神様が大勢集まるので神有月と言うそうです。英語では October。Oct は数字の8の事ですから直訳すれば8番目の月という事になります。理由は今の3月が昔の1月ですから2ヶ月だけずれるからです。

### 推薦入試願書受付が始まります。出願にあたり専願か併願か再チェックして下さい

それはともかく、10月はAO入試などの書類選考入試の始まる月。一番多いのは10月中旬から願書受け付け、試験が11月というパターンです。2校以上受験する人は、専願か併願か再チェックして下さい。指定校入試などの専願の場合合格したらその学校へ入学する義務があるので、不合格にならない限り他校を受験する事は出来ません。合格して、「シマッター、こっちの学校にすれば良かった」なんて事が無いようにして下さい。



### 試験前に必ず面接練習をしてみてください

就職試験の時の面接試験と基本時には同じですが、話し方とか入退場のマナーよりも、中味、つまり、入学後の専門を理解出来るだけの学力があるかどうか、また、学業を続けるだけの経済力があるかどうか確認するのが目的となります。試験前にもう一度、日頃から自分の学びたい事を整理し、関係する科目を再度復習しておいて下さい。環境が変わり、さらに緊張してしまうと日頃何気なく答えられる事が答えられなかったり間違ってしまうりするものです。練習を積み重ねるのが一番良い方法と思われる。 (以上 文:小林哲先生)



## 今後の求人見通し

二次の求人を幾つかの企業にお願いしている際、企業でいわれることは、「最近徐々に景気が上向き少しずつ仕事が増えてきており人が欲しくなりつつあるが、まだ先が読めずここで採用しても後で採用取り消しというわけにいかないの、今は採用できない」といった趣旨のことです。そのためパートや派遣で当面の人不足を乗り切ろうとしているようです。中には、「年明けになれば少し先行きの見通しが立つので、採用できるかもしれない」というものもあります。今年いっぱい各企業ともに慎重に対応しようとしているようです。従って第二次の求人も年明けにづれ込みそうです。

進路が決まらない人にとっては気が気でないかもしれませんが、最悪卒業式に間に合わなくとも、学校としては年度をまたいでも出来るだけ皆さんの進路を保証できるようにしたいと思っています。一般的には卒業すれば職安に相談をすることになりますが、4月に入っても職が決まらない人は、学校で就職の相談にのり企業にお願いしていきたいと思っています。

### 技術専門校推薦選考受付締切 10/15(木)

新卒高校生のみ対象、適性検査・面接のみ(学科試験免除)、企業との併願可(合格後の辞退可)、希望者がありましたら検討し至急担任まで申し出てください。